

会長挨拶

千葉県テニス協会

会長 青木 義昇



私は現在 78 才です。新型コロナの感染が拡大する前から続けているウォーキングと筋トレは毎日続けていますが、持病があるため、今年は夜間の外出や本業の会社（東京本社）への勤務はできるだけ控えてきました。しかしながら with コロナの状況でも、日々変化する情報の伝達やその対応のため協会は機能を維持し続けなければなりません。感染防止対策を徹底しつつ業務にあたっていただいた事務局や関係者の皆さんには心から感謝申し上げます。

テニスプレーする皆さんは、是非「安心・安全なテニス」のための「New ノーマル」を守り、感染拡大防止のため、プレー中以外でのマスクの着用、会食の自粛を心がけてください。身近なコートで、幼児から年配者まで様々なテニス愛好者が、楽しく元気にプレーできる「日本一テニスの盛んな千葉県」を目指し、夢と目標をもって進んでいきたいと思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

理事長挨拶

理事長 南野 泰造



新型コロナウイルス感染防止対応のため一般社会同様に、協会外出活動も自粛。事務局勤務形態を大幅に縮小、政府制限緩和に追従して逐次調整を行ってきました。会議開催において、理事会・総会は資料郵送による表決権行使で実施。役員会議はメール回議と WEB 会議での対応、下期に入ってようやく会議場で開催の機会を得ています。事業においては、関連機関ならびに中央競技団体 JTA からの情報および、参加者の広域移動・高年齢含みなどの要素を加味して上期 CTA 主催・主管の事業・大会はすべて中止と致しました。

ジュニア委員会においては、県行政よりちばジュニア強化事業再開の通知を受けたのち、8月から順次事業を再開しています。下期事業は、11月開催事業より準備中であります。協会財務状況について、上期収入はほぼ年会費のみで事業収入はなし。協会機能の維持、固定費の支出は必要経費で支出。下期事業実施で若干の収支改善は見込むが、単年度収支は数百万円の赤字が見込まれます。